

1月13日（水）本年度第25回（通算 第2806回）

「ロータリー理解」

担当/ロータリー情報・研修委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

◆メーキャップ

1/9 佐渡 幸君、中島谷 友一朗君、石井 東洋彦君、菊地 美恵子さん、鈴木 圭介君、萩原 昭博君
本間 弘人君 以上7名（釧路北 RAC）

◆出席報告【会員総数 73 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 73 名】

本日の出席率 出席者 33 名 メーキャップ 7 名 出席率 54.8%

前々回の修正出席率 出席者 54 名 メーキャップ 0 名 出席率 74.0%

◆ニコニコ献金（今年度累計 361,000円）

- ・本間 明美さん、宜しくお願ひ致します ～佐渡 正幸君
- ・本日の例会宜しくお願ひ致します ～中島谷 友一朗君
- ・担当例会です。委員長の皆さん宜しくお願ひ致します ～石井 東洋彦君
- ・本日司会です。宜しくお願ひ致します ～工藤 健司君
- ・入会記念日です。ありがとうございました ～田野 竜之介君、平井 昌弘君
- ・本年も宜しくお願ひ致します ～中嶋 嘉昭君
- ・本日例会宜しくお願ひ致します ～本間 明美さん

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さんこんにちは、本日も例会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。

非常に寒い日が続いております。そして雪の方は釧路には全然降ってなく乾燥した状況になっておりますので、この寒さと乾燥が重なるとインフルエンザが流行してくる訳でございます。大人の方でも何人か罹った方が友達の中にもいますが、是非とも体の方には気を付けて頂きたいと思ひます。後一か月ぐらいすると、暖かい日がやっと廻ってくると思ひますので、お体には十分ご留意してお過ごし頂ければと思ひます。

話が変わりますが、私の子が小学生なものですから冬休みで家に居る状況で、朝起きた時に下の娘が「パパ今日、仕事なの？」と聞いてきたので、「当たり前だよ」と答えました。そしたら間髪入れずに「パパ当り前の反対の言葉って知っている？」と聞かれました。

皆さん解りますか？当り前の反対語は何か。それが、私たまたま昨日ある方のお通夜に参列いたしまして、その後住職の方からその言葉をお説教として頂きました。「当り前」の反対語は「ありがとう」なんですと、有難うは、「有り・難い」有るのが難しいと言う事で、「当り前」の反対語は「有り難い」と言う言葉を説教の中で頂いておりましたので、娘

に「それは有難うだよ」普通に答えました、娘は「えっ！」と驚き「パパ良く知っているね」と言う会話がありました。

普段こうして生活していると言う事は実は「当たり前」では無く、本当に全ての事に感謝しながら生きなければならない、我々がこうしてロータリアンに所属していることも、そしてお昼にこうしてご飯を食べられる事も、普通に仕事ができる事も全てが「当たり前」では無く、「有り難い」「有難う」と言う気持ちを持って生きて行きましょうと言う意味で、「当たり前」の反対は「有り難い」もう少し解り難く言うと「有難うです。」と言う事です。ロータリーにおいても、世界そして地域社会を見ると、「当たり前」生きていない方が沢山いらっしゃる、そういう中で我々ロータリアンとして、本当にその部分の奉仕活動、支援活動がその言葉から、もっともっと充実して行かなければならないと感じ取らせて頂きました。

今日はロータリーを理解しようと言う事で、ロータリー情報委員会の本間委員長に講演を頂きながら、また一つ此処でロータリーをしっかりと理解した中で皆さんと一緒にロータリー活動を充実させて行く事を心からお願い申し上げまして会長としての挨拶といたします。

本日一日どうぞよろしく願いいたします。

パーソナルボックスへナシ

◆幹事報告

《中島谷幹事》



回覧として2点

1. 1月例会プログラム案内、例会会報が厚岸 RC 様。
2. 例会プログラム変更の案内。

報告（口頭）として1点

- ・次週例会は「会員卓話」昼例会ですのでお間違えないようお願いします。

「ロータリー理解」

アカデミー部門担当理事 石井 東洋彦

皆さんこんにちは、アカデミー部門担当理事の石井です。

今日はロータリー理解と言う事で、ロータリー情報委員会の本間委員長、ロータリー研修委員会の中嶋委員長、委員長両名からお話をさせていただきます。アカデミー部門総力上げて今日の例会プログラムを進めさせていただきますので、どうぞ、最後までお付き合いをお願いいたします。

ロータリー情報委員会 本間委員長



皆様こんにちは、本日はロータリー情報委員会の担当例会と言う事で、「基本を学ぼう！ロータリー用語」をテーマに、解っている様で実はぼんやりしているロータリーのアレコレをダイジェスト版でお伝え出来ればと思っております。また、今年度多数の新入会員が入会し、アカデミー研修塾の開催など、改めてロータリーを学ぶ機会の多い年度となっております。そこで、主に入会年度の浅い会員を対象に行われました、アカデミー研修

塾の内容をもう少し詳しく、また入会后新入会員が戸惑うロータリー用語にも触れたいと思います。また、皆様のお手元にお配りしました「ロータリー情報ハンドブックダイジェスト版」は、デザイン・構成・印刷を私個人の手作りでご用意させていただきました。誤字、脱字等至らぬ内容もあるかと思いますが、ロータリーの友情に免じてお許し頂きたいと思っております。

それでは、最後までよろしくをお願いいたします。

釧路北ロータリークラブ ロータリー情報ダイジェスト資料

世界は常に変化しているロータリーは、この世界と共に変化して成長していかねばならないロータリーの物語は幾度も書きかえられねばならない。

「ポールP. ハリス」

・ロータリアンの3大義務

1. 出席義務…出席不可能場合は欠席をメッセージすること。会員は毎回開かれる例会に出席する義務があり、ロータリー年度の半期ごとにメークアップを含む出席率が少なくとも50%以上、またホームクラブでは30%以上の出席をしなければなりません。いずれの例会場であっても充当された時間(日本では概ね1時間)の60%は会場に留まらなければなりません。
2. 会費の納入…国際ロータリー(RI)の人間分給金という、ロータリアンがRIに収めなければならないお金も含まれています
3. 雑誌の購読…RIの機関誌または地域的なロータリー雑誌を購読しなければならない。「ロータリーの友」か「The Rotarian」

坂本新世代育成基金

この基金は、1996～97年度に釧路北ロータリークラブの、坂本一会員がガバナーに就任し、その職責を全うされたことを記念し、更にはガバナー年度に実施された「新世代会議」の成果を基に創設されました。主旨は、ロータリーと地域社会が手を結ぶ奉仕理念を目指す事業として、次代を担う新世代の健全育成・奨励します。

足立顕彰障がい者スポーツ基金

当クラブの創立40周年記念事業の一環として提唱設立された基金で、提唱の推進役となった当時の記念事業委員長の足立功一会員が、10年後の当クラブ創立50周年時にガバナーに就任しました。「奉仕の実践 培う献身」を地区決意として、RIテーマ「夢をかたちに」に向け渾身の努力を傾けられ、その功績を称え、本基金に冠名を附しました。これまでの障害者の競技会派遣支援事業に加え、新たに知的障がい者(ID)スポーツ大会を主催し開催支援するものです。

釧路北ロータリークラブロータリー情報ハンドブックダイジェスト版より抜粋